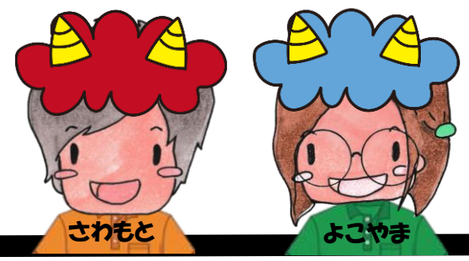
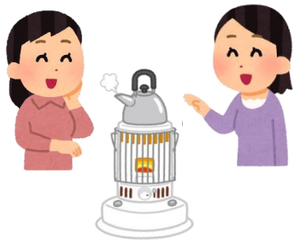
ふくまる通信



回覧
2024年
冬号
Vol. 6



特集 生活支援コーディネーターの“まだまだ気になる”東柏木地区を追跡！

まだまだ気になる地域のお宝追跡調査！です。
今回は福祉かつらぎ９月号ふくまるコーナー5 号に登場した「東柏木サロン」を大特集。

東柏木サロン会のお約束がとってもステキ！なんです。

〇泣きごとや愚痴、人の悪口を言わないのがルール！
〇杉良太郎のアノ名曲♪『ぼけたらあかん長生きしなはれ』でサロンスタート！

追跡調査をする中で見えてきた地域のつながり・支えあい・助け合いなどの地域の魅力を、地域のリアルな声でお届けします。

東柏木サロンの元気印！辻本さんの声。

「色んな話ができる、楽しみがある場」

楽しい！
「サロンはみんなとおしゃべりできるからいつも楽しい！」
話ができる！
「勤めている私にとって、いろんな話やいろんな情報をもらえるのがサロン。情報は生活していく中で大切なことです。」
勉強ができる！（興味が湧く！）
「サロンで勉強したのがキッカケで、チームオレンジ※に参加しています。自分自身の健康づくりのためにも認知症について学んでいます。」　※「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動している集まり。
一人じゃない！
「災害があった時もサロンに参加しているつながりがあれば、地域で忘れられることはないんです。」

田中代表、思いを綴る。「生活の質を大切に…」

東柏木は、高齢化率・高齢者の世帯数ともに60％を超え、まさに“限界集落”に差し掛かっています。認知症やフレイル予防はもちろん、老化や個々の環境に制限されても、いつまでも自分らしい生活を送り、生活の質（QOL）を低下させないことを目指しています。特に外出支援が有効で、公共交通の早期乗り入れを待ち望んでいます。今年１月から“ライドシェア型買い物ツアー”を始めました。

また、出席しづらくなった方が気になるところですし、多くの方のご参加で会を盛り上げてほしいと思っています。

まだまだ追跡！ ライドシェア型買い物ツアー

１月のある日のいつものサロン時間、ライドシェア型買い物ツアーが始動！
サロンメンバーが車をライドシェア（相乗り）し、スーパーでお買い物。その後喫茶店でお茶を飲みながらおしゃべりをし、東柏木へ帰るという新たなスタイルです。

「コロナ禍以降、初めて外でコーヒーを飲みました。皆で出かけられたことが嬉しい」と参加者のひとり。

これからも、皆で集い、生活の中の欲しい情報を得て、ちょっとした生活の安心感をもつことを大切にされなから東柏木地区の地域つながり活動は続きます。
時代に合わせた集い方を常に工夫されているのが東柏木地区の大きな魅力です。

生活支援コーディネーターのひとこと

今回追跡調査を通じて、“集うこと”や、“生活の質（QOL）を低下させないこと”など、つい忘れてしまいがちだけどとても大切なことを改めて教えていただきました。
これからも地域の“声”を大切に皆様に届けていきたいと思っています。
ふくまる通信乞うご期待😊

【発行】 社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会　地域係
住所：和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2338-2
電話：0736-22-4311

ホームページ　Facebook　Instagram

発行:2024 年２月